

## 日本土壤微生物学会名誉会員推薦書理由書

丸本卓哉 山口大学名誉教授(多機能フィルター株式会社代表取締役社長・国立大学法人京都大学非常勤監事) 1246 1942年4月24日生

丸本卓哉氏は、土壤微生物バイオマスの実体の解明と土壤肥沃度の観点からの土壤微生物バイオマス中の植物養分の発現制御、ならびに、菌根菌をはじめとした土壤微生物を利用した緑化・環境修復技術についての研究教育に多大な尽力をされ、土壤微生物学分野の発展に大きく貢献されました。また、2016年からは、多機能フィルター株式会社代表取締役社長として、学術的な研究成果を基に、国際的な視点で緑化・環境修復事業の最前線で活躍を続けられています。

これらの研究成果は、関連学会等で高く評価され、1997年には、「土壤微生物バイオマス窒素の動態に関する研究」で日本土壤肥料学会学会賞を、また、2006年には第63回中国文化賞を、2007年には「土壤微生物の養分供給機能と環境修復技術の開発に関する研究」と題して日本農学賞、読売農学賞を受賞されるなど、輝かしい功績をあげていらっしゃいます。また、研究の一端は、文部科学省科学技術政策研究所が作成したパンフレット『大学・研究機関の多様な成果 48 事例 -科学技術基本計画 10 年の軌跡-』（2005 年、文部科学省科学技術政策研究所編）に、「共生微生物を利用した普賢岳火砕流跡地の緑化とその効果の科学的判定（研究推進者：丸本卓哉教授）」として掲載されました。

同氏は、九州大学農学研究科を修了し、1973年に山口大学助手、1975年に山口大学助教授、1991年に山口大学教授と昇任され、1996年から農学部長、2002年から学長補佐及び大学教育センター長を務められました。また、法人化後は、2004年から理事・副学長、2006年から学長に就任され大学の管理運営にご尽力されました。この間、国立大学協会副会長や中央教育審議会委員を務めるなど、日本における高等教育にも多大な貢献をなさつ

ています。

日本土壤微生物学会においては、1998年から2001年にわたって、研究会から学会への改編後、初の会長に就任され、その後も評議員として本学会の発展に多大な貢献をされました。同時に、地球環境平和財団 地球緑化推進特別委員会委員長や日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員等を歴任されました。

これらの長年にわたる、教育研究への功勞に対し、2018年には、瑞宝重光章が授与されました。

以上のように、丸本卓哉氏の日本土壤微生物学会および関連分野への貢献は高く評価され、ここに名誉会員に推挙いたします。

2019年5月6日

推薦人

横山 和平 山口大学 教授 1847

立石 貴浩 岩手大学 准教授 1914

太田 寛行 茨城大学 理事・副学長 1364

